



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場会社名 椿本興業株式会社

コード番号 8052 URL <http://www.tsubaki.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 椿本 哲也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員

(氏名) 春日部 博

TEL 06-4795-8806

四半期報告書提出予定日 平成23年11月4日

配当支払開始予定日

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	38,505	7.9	820	131.6	900	110.0	341	239.9
23年3月期第2四半期	35,688	22.2	354	—	428	—	100	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 19百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △791百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	10.61	—
23年3月期第2四半期	3.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	43,850	—	11,685	—	—	26.5
23年3月期	43,701	—	11,827	—	—	26.9

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 11,596百万円 23年3月期 11,754百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.00	—	5.00	8.00	8.00
24年3月期	—	3.00	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,000	9.3	1,600	35.8	1,800	39.4	700	21.9	21.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	32,489,845 株	23年3月期	32,489,845 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	306,816 株	23年3月期	302,951 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	32,184,991 株	23年3月期2Q	32,191,226 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 追加情報	11
5. 補足情報	12
受注、販売及び仕入の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の経済動向は、東日本大震災後のサプライチェーンの早期復旧と中国を中心としたアジア諸国の高い成長に支えられ概ね順調に推移いたしました。しかしながら、長期化する円高・株安、原材料高、欧米経済の景気低迷等で先行き不透明な状況が続くものと思われまます。

このような状況下、当企業グループにおいては国内外における営業協調体制の強化により、積極的な営業展開を計った結果、当第2四半期連結累計期間について売上高は前年同期を上回るとともに、利益率の向上と営業費用の徹底した節減等により、営業利益・経常利益及び四半期純利益は前年同期を大幅に上回ることができました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、

売上高	385億	5百万円	(前年同期比	107.9%)
営業利益	8億	20百万円	(前年同期比	231.6%)
経常利益	9億	0百万円	(前年同期比	210.0%)
四半期純利益	3億	41百万円	(前年同期比	339.9%)

となりました。

報告セグメントの業績は以下のとおりです。

動伝事業

当事業は、株式会社椿本チエイングループのパワトラ商品を中心として、国内外の動力伝動商品の全般を取り扱っており、その売上高は全体の約53%を占めております。

当第2四半期連結累計期間は、売上高においては、東日本大震災後の部品供給体制の正常化で自動車関連分野が回復したものの、半導体業界を中心としたIT関連分野は景気回復には至らず、全体としては前年同期をやや下回りました。利益面においては、営業協調体制強化の成果もあり営業利益が大幅に上昇いたしました。当事業全体の売上高は、202億84百万円（前年同期比99.0%）となりました。

設備装置事業

当事業は、株式会社椿本チエイングループのマテハン商品、当社独自のエンジニアリングによるツバコーシステム商品を中心に、産業分野全般にわたり搬送設備等の自動化・省力化商品を提供しており、その売上高は全体の約36%を占めております。

当第2四半期連結累計期間は、震災復旧に向けた設備需要、アジア諸国を中心とした海外案件が増加し、エネルギー関連、環境関連、自動車関連、製紙関連分野等で受注高、売上高及び営業利益が大幅に増加いたしました。このため、当事業全体の売上高は、138億92百万円（前年同期比123.4%）となりました。

産業資材事業

当事業は、不織布製品をはじめ合成樹脂原料及びその成型加工品、カルマーポンプ、新素材商品等幅広い商品を取り扱っており、その売上高は全体の約11%を占めております。

当第2四半期連結累計期間は、従来商品の拡販と新規開発商品による積極的な営業展開の結果、国内外で業績を拡大することができ、当事業全体の売上高は、43億29百万円（前年同期比109.7%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

1. 資産、負債及び純資産の状況

① 資産

当第2四半期連結会計期間末の総資産は438億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億49百万円増加いたしました。流動資産は6億51百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金が1億54百万円増加、受取手形及び売掛金が2億30百万円増加、仕掛品が3億円増加したこと等によるものであります。固定資産は、5億2百万円減少いたしました。主な要因は、投資有価証券の時価が前年度末に比べ下落したことにより5億78百万円減少したこと等によるものであります。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は321億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億91百万円増加いたしました。流動負債は3億84百万円増加いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金が6億85百万円増加、未払法人税等が2億71百万円減少したこと等によるものであります。一方、固定負債は93百万円減少いたしました。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産の部は116億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億42百万円減少いたしました。主な要因は、当四半期純利益を3億41百万円計上したものの、配当金の支払いを1億61百万円実施した上、その他有価証券評価差額金が3億46百万円減少したこと等によるものであります。

2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は40億95百万円となり、前連結会計年度末より1億54百万円増加いたしました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、増加した資金は3億75百万円となりました。この主な原因は、税金等調整前四半期純利益7億92百万円、仕入債務の増加額6億93百万円等による資金の増加があった一方、売上債権の増加額2億33百万円、仕掛品の増加額3億円、法人税等の支払額6億45百万円等の資金の減少によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、使用した資金は49百万円となりました。この主な原因は、固定資産の取得による支出59百万円等の資金の減少によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、使用した資金は1億63百万円となりました。この主な原因は、配当金の支払額1億61百万円等の資金の減少によるものであります。

通期のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、不良債権の発生を極力抑制するとともに、債権回収の早期化の促進をはかること及び当企業グループ全体の資金効率向上等により資金充実を目指してまいります。投資活動及び財務活動によるキャッシュ・フローは、売上動向の変化に機敏に対応できる効率的な資金調達・運用を念頭に活動してまいります。

当連結会計年度末の資金は、前連結会計年度末程度を予定しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当企業グループ全体の第2四半期の業績は、東日本大震災による混乱から工業生産の正常化に向けた設備投資が回復傾向にあるとともに、引き続き好調な中国を中心としたアジア圏向け需要に牽引され、受注面では、計画以上、売上面では、ほぼ計画通り、利益面ではコスト節減の徹底等により計画以上という業績を達成できました。

通期の連結業績予想は、歴史的な円高の長期化、長引く株安、海外シフト懸念、欧米経済の低迷による新興国での競争激化が予想されるものの、当企業グループの上記の第2四半期の受注動向・受注残高の状況から、概ね下記の業績が達成できるものと考えております。また、この状況は個別業績においても同様でありますので、5月12日公表の連結業績予想ならびに個別業績予想を下記の通り修正いたします。

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	81,000	1,250	1,350	700	21.75
今回修正予想 (B)	81,000	1,600	1,800	700	21.75
増減額 (B-A)	0	350	450	0	—
増減率 (%)	0.0%	28.0%	33.3%	0.0%	—
前期実績	74,101	1,177	1,291	574	17.84

平成24年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	76,000	830	950	450	13.96
今回修正予想 (B)	76,000	970	1,300	500	15.51
増減額 (B-A)	0	140	350	50	—
増減率 (%)	0.0%	16.9%	36.8%	11.1%	—
前期実績	69,541	763	893	312	9.68

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,941	4,095
受取手形及び売掛金	26,706	26,937
商品及び製品	1,781	1,750
仕掛品	1,771	2,071
繰延税金資産	192	155
その他	852	871
貸倒引当金	△183	△169
流動資産合計	35,062	35,713
固定資産		
有形固定資産	571	602
無形固定資産	88	76
投資その他の資産		
投資有価証券	6,435	5,856
その他	1,704	1,732
貸倒引当金	△160	△131
投資その他の資産合計	7,979	7,457
固定資産合計	8,639	8,137
資産合計	43,701	43,850
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,245	25,930
短期借入金	210	210
未払法人税等	636	364
役員賞与引当金	90	101
前受金	1,619	1,554
繰延税金負債	7	9
その他	274	299
流動負債合計	28,084	28,469
固定負債		
長期借入金	2,000	2,000
退職給付引当金	1,120	1,127
長期未払金	462	367
繰延税金負債	0	0
その他	206	201
固定負債合計	3,790	3,696
負債合計	31,874	32,165

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,945	2,945
資本剰余金	1,805	1,805
利益剰余金	6,489	6,669
自己株式	△82	△83
株主資本合計	11,158	11,337
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	663	317
繰延ヘッジ損益	0	9
為替換算調整勘定	△67	△68
その他の包括利益累計額合計	596	258
少数株主持分	72	88
純資産合計	11,827	11,685
負債純資産合計	43,701	43,850

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	35,688	38,505
売上原価	31,178	33,276
売上総利益	4,510	5,229
販売費及び一般管理費	4,155	4,409
営業利益	354	820
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	59	69
持分法による投資利益	38	23
その他	28	26
営業外収益合計	128	121
営業外費用		
支払利息	20	16
売上割引	14	15
その他	20	10
営業外費用合計	54	41
経常利益	428	900
特別利益		
固定資産売却益	0	—
貸倒引当金戻入額	37	—
特別利益合計	37	—
特別損失		
投資有価証券評価損	119	102
ゴルフ会員権評価損	4	0
その他	0	4
特別損失合計	124	107
税金等調整前四半期純利益	341	792
法人税、住民税及び事業税	241	358
法人税等調整額	△1	73
法人税等合計	239	432
少数株主損益調整前四半期純利益	102	360
少数株主利益	1	18
四半期純利益	100	341

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	102	360
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△874	△343
繰延ヘッジ損益	△0	9
為替換算調整勘定	△6	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	△11	△2
その他の包括利益合計	△893	△340
四半期包括利益	△791	19
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△786	3
少数株主に係る四半期包括利益	△5	15

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	341	792
減価償却費	29	38
のれん償却額	0	0
引当金の増減額 (△は減少)	△53	△25
受取利息及び受取配当金	△61	△71
支払利息	20	16
持分法による投資損益 (△は益)	△38	△23
投資有価証券評価損益 (△は益)	119	102
固定資産除売却損益 (△は益)	0	4
ゴルフ会員権評価損	4	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,198	△233
商品の増減額 (△は増加)	6	30
仕掛品の増減額 (△は増加)	56	△300
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,148	693
前受金の増減額 (△は減少)	323	△53
未払消費税等の増減額 (△は減少)	22	△12
その他の資産の増減額 (△は増加)	△302	45
その他の負債の増減額 (△は減少)	△10	△67
その他	△3	△2
小計	1,404	933
利息及び配当金の受取額	61	71
利息の支払額	△20	△16
法人税等の支払額	—	△645
法人税等の還付額	479	—
その他の支出と収入	12	32
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,938	375
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△77	△59
固定資産の売却による収入	0	0
投資有価証券の取得による支出	△8	△7
子会社株式の取得による支出	△45	—
長期貸付けによる支出	△3	△2
長期貸付金の回収による収入	2	3
その他	△12	15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△143	△49
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	49	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△0	△1
配当金の支払額	△161	△161
財務活動によるキャッシュ・フロー	△112	△163
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	△8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,675	154
現金及び現金同等物の期首残高	3,223	3,941
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,898	4,095

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	動伝事業 (百万円)	設備装置 事業 (百万円)	産業資材 事業 (百万円)			
売上高						
外部顧客への売上高	20,481	11,259	3,947	35,688	—	35,688
セグメント間の内部 売上高又は振替高	402	1,991	339	2,733	△2,733	—
計	20,884	13,251	4,286	38,422	△2,733	35,688
セグメント利益	497	54	94	646	△292	354

(注) 各セグメントに属する主要な商品は下記のとおりであります。

セグメント別	主要商品名
動伝事業	ローラチェーン及び鎖車、タイミングチェーン及び歯付きベルト、各種搬送用チェーン、各種カップリング、各種電動機、制御機器、各種変減速機、電子機器、その他伝動機器
設備装置事業	クリーンエネルギー関連設備、医薬・バイオ関連設備、化学機械装置、水処理装置、食品機械、その他環境装置、工作機械、鍛圧機械、産業用ロボット、各種コンベヤ、各種自動化装置、サイロ設備、立体倉庫及び自動仕分装置、各種輸送装置を含むFAシステム、建築請負工事
産業資材事業	各種不織布及びその加工品、各種合成樹脂成形機及び成形品、機能素材

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	646
セグメント間取引消去	△0
全社費用(注)	△292
四半期連結損益計算書の営業利益	354

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	動伝事業 (百万円)	設備装置 事業 (百万円)	産業資材 事業 (百万円)			
売上高						
外部顧客への売上高	20,284	13,892	4,329	38,505	—	38,505
セグメント間の内部 売上高又は振替高	734	1,236	846	2,817	△2,817	—
計	21,018	15,128	5,176	41,323	△2,817	38,505
セグメント利益	703	361	177	1,241	△421	820

(注) 各セグメントに属する主要な商品は下記のとおりであります。

セグメント別	主要商品名
動伝事業	ローラチェーン及び鎖車、タイミングチェーン及び歯付きベルト、各種搬送用チェーン、各種カップリング、各種電動機、制御機器、各種変減速機、電子機器、その他伝動機器
設備装置事業	クリーンエネルギー関連設備、医薬・バイオ関連設備、化学機械装置、水処理装置、食品機械、その他環境装置、工作機械、鍛圧機械、産業用ロボット、各種コンベヤ、各種自動化装置、サイロ設備、立体倉庫及び自動仕分装置、各種輸送装置を含むFAシステム、建築請負工事
産業資材事業	各種不織布及びその加工品、各種合成樹脂成形機及び成形品、機能素材

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,241
セグメント間取引消去	2
全社費用(注)	△423
四半期連結損益計算書の営業利益	820

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

5. 補足情報

受注、販売及び仕入の状況

(1) 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期 増減比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期 増減比(%)
動伝事業	22,208	+5.8	5,576	+10.4
設備装置事業	21,726	+72.5	15,977	+36.6
産業資材事業	5,339	+31.0	1,259	+9.3
調整額	△3,356	—	△2,169	—
合計	45,918	+31.7	20,645	+27.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

当第2四半期連結会計期間における販売実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期増減比(%)
動伝事業	21,018	+0.6
設備装置事業	15,128	+14.2
産業資材事業	5,176	+20.7
調整額	△2,817	—
合計	38,505	+7.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 仕入実績

当第2四半期連結会計期間における仕入実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	仕入高(百万円)	前年同四半期増減比(%)
動伝事業	18,306	+1.0
設備装置事業	13,456	+14.4
産業資材事業	4,599	+16.2
調整額	△2,817	—
合計	33,545	+7.8

(注) 上記の金額は、仕入価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。